

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2006-518604(P2006-518604A)

【公表日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2006-032

【出願番号】特願2006-503825(P2006-503825)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 9/10

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月13日(2007.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プラスミドpRTP801-VEGF。

【請求項2】

血管内皮成長因子をコードする発現カセットの隣に作用可能に配列され、それにより適切な哺乳動物細胞中にプラスミドを送達した後、酸素正常状態よりも低酸素状態でより高い血管内皮成長因子の発現が得られる様にする、低酸素状態で制御されるRTP-801プロモータ要素を含むプラスミド。

【請求項3】

pRTP801-VEGFおよび薬剤的に許容可能な遺伝子送達キャリアの混合物を含む、組成物。

【請求項4】

pRTP801-VEGFと薬剤的に許容可能な遺伝子送達キャリアとの混合物を含む、虚血性疾患を治療するための医薬組成物であって、pRTP801-VEGFを標的細胞中に送達してそして血管内皮成長因子をその様な細胞中で発現させることを含む、前記医薬組成物。

【請求項5】

前記虚血性疾患が、虚血性心疾患であり、そして前記標的細胞が心筋細胞を含む、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

pRTP801-VEGFと薬剤的に許容可能な遺伝子送達キャリアとの混合物を含む組成物を含む、虚血性心疾患を治療するための医薬組成物であって、pRTP801-VEGFを心筋細胞中に送達し、そして血管内皮成長因子をそのような細胞中で発現させることを含む、前記医薬組成物。

【請求項7】

(a) 血管内皮成長因子をコードする発現カセットの隣に作用可能に配列され、それに

より標的細胞中へのプラスミドの送達の結果、酸素正常状態よりも低酸素状態でより高い血管内皮成長因子の発現が得られる、低酸素状態制御されるRTP-801プロモータ要素を含むプラスミド、および(b)薬剤的に許容可能な遺伝子送達キャリアの混合物を含む組成物を含む、虚血性疾患を治療するための医薬組成物であって、プラスミドを標的細胞中に送達してそして血管内皮成長因子をそのような細胞中で発現させることを含む、前記医薬組成物。

【請求項 8】

プラスミドがpRTP801-VEGFである、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

虚血性疾患が虚血性心疾患であり、そして標的細胞が心筋細胞を含む、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

pRTP801-725、pRTP801-645、pRTP801-545、pRTP801-495、pRTP801-445、pRTP801-395、およびpRTP801-SP1(-)からなる群から選択されるプラスミドを含む組成物。

【請求項 11】

プラスミドがpRTP801-725である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 12】

プラスミドがpRTP801-645である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 13】

プラスミドがpRTP801-545である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 14】

プラスミドがpRTP801-495である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 15】

プラスミドがpRTP801-445である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 16】

プラスミドがpRTP801-395である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 17】

プラスミドがpRTP801-SP1(-)である、請求項10に記載の組成物。